

第十九回神戸大学ホームカミングデイのご案内

「振り返れば六甲の山並み。あの頃の友に会いたい!」と、『神戸大学ホームカミングデイ』を開催いたします。〔2025 年 10 月 25 日(土)、要事前予約〕

全学式典 10:20~12:00 六甲台講堂、ランチパーティー12:10~13:00
農学部行事 13:30~16:05 C101教室、懇親会 16:15~17:15 LANS BOX

さて、午後の農学部行事では、六篠賞受賞者の表彰式のあと、素晴らしい講演等を用意いたしました。

第一に、学術誌 Nature に輝かしい研究成果が掲載され、六篠国際賞を受賞された京極 博久准教授による『初期胚の染色体分配異常の謎に迫る』と題した学術講演をお願いし、次いで、戦後間もない 1949 年の激動の時代に、丹波篠山の地に創立した兵庫農科大学の開学の精神・農学研究の考えを同窓生みんなで共有し繋いでいくために、特別企画の学生活動報告と講演を次のとおり行います。

① 農学研究科の石井 尊生教授から『神戸大学農学研究科が引き継いだ兵庫農科大学のバトン~約70年の眠りから覚めたインドシナ諸国のイネ、母国での品種改良活用へ~』の講演、〔兵庫農科大学の浜田 秀夫教授が学術調査団として 1957・58 年に収集したイネ等の品種の標本〕

② 「地域密着型サークル にしき恋」の学生サークルの表彰と農学部 2 回生 中村 俊文氏(現会長)から『丹波篠山市での地域貢献活動について』の活動報告、〔2012 年度の神戸大学農学部の丹波篠山市での授業「実践農学入門」の開講をきっかけに、翌 2013 年にサークルを設立し、丹波黒大豆などの農業を通じて地域の人びととの交流を図っている。〕

③ 兵庫農科大学の大先輩であり、小田垣商店名誉会長の小田垣 博三氏(農学科 9 回生、昭和 36 年卒)から『兵庫農大の思い出 私と丹波黒大豆』の講演、〔丹波黒大豆は、三百年以上前の江戸時代から幕府に献上した特産品であったが、同じく小田垣商店も江戸時代に開業。明治元年から黒大豆などの種屋を運営し地域農業を支え、現在では、丹波黒大豆や山の芋等その加工品を中心に幅広い営業に取り組んでいる。〕

④ 兵庫県農業改良普及員・専門技術員として県下農業について精通され、現在、丹波篠山市農都創造政策官の森本 秀樹氏から『丹波篠山市の農業について』の講演、をお願いいたしました。

時代が移り変わっても、世代を超えて皆なでつないでいきたい精神・学問があります。忘れられない大学と丹波篠山市の人びととの絆・繋がりが、今なお、神戸大学農学部の授業『実践農学入門』と学生の『地域貢献サークル』などに引き継がれていることは嬉しいことです。

ぜひとも、兵庫農科大学同窓生、神戸大学農学部同窓生、同・現学生並びに関係者の皆様をお誘いいただき、一堂に会し、懐かしい想いを語り、未来の大学を語りたいと思っています。お待ちしております。参加ご希望の方は事前申し込み(<https://www.hcd.ofc.kobe-u.ac.jp/>)が必要です。